

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 能美防災株式会社  
 コード番号 6744 URL <http://www.nohmi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 毅  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 荒井 一  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 03-3265-0214

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	59,197	—	2,941	—	3,177	—	1,769	—
20年3月期第3四半期	54,015	4.5	1,760	14.2	2,000	24.3	1,084	58.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	29.31	—
20年3月期第3四半期	17.96	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	80,235	60.9	49,915	60.9	—	—	809.35	—
20年3月期	81,249	59.4	49,318	59.4	—	—	798.86	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 48,856百万円 20年3月期 48,238百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	8.3	5,300	9.7	5,600	8.7	3,100	8.6	51.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 21年3月期第3四半期 | 60,832,771株 | 20年3月期      | 60,832,771株 |
| ② 期末自己株式数            | 21年3月期第3四半期 | 467,478株    | 20年3月期      | 448,014株    |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 21年3月期第3四半期 | 60,377,958株 | 20年3月期第3四半期 | 60,391,886株 |

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、世界的な金融危機の深刻化や急激な円高の進行等を背景とした企業収益や雇用情勢の悪化により大変厳しいものとなっております。

当防災業界におきましても、住宅建設の減少傾向のなか、設備投資の減退により、依然として厳しい経営環境が続いております。このような環境のなか、当社グループは通期目標の達成に向け、グループ一丸となり積極的な営業活動に努めました。

その結果、当第3四半期における連結売上高は59,197百万円、営業利益は2,941百万円、経常利益は3,177百万円、四半期純利益は1,769百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産につきましては、製品等のたな卸資産は2,042百万円の増加、未成工事支出金では5,318百万円の増加となったものの、現金及び預金の1,365百万円の減少、受取手形及び売掛金の7,614百万円の減少などにより、総資産は前連結会計年度末に比べ1,013百万円減少の80,235百万円となりました。

負債につきましては、未成工事受入金は2,110百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれている未払金1,240百万円の減少、賞与引当金1,506百万円の減少などにより、流動負債合計は1,445百万円の減少となり、負債合計は前連結会計年度末に比べ1,609百万円減少の30,320百万円となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の積み増しなどにより、前連結会計年度末に比べ596百万円増加し、49,915百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成20年7月31日に公表いたしました予想数値に現時点では変更ございません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

## ② 税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

また、法人税等調整額に関しては、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用し、評価基準については主として総平均法による原価法から主として総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

③ 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,712	16,078
受取手形及び売掛金	20,908	28,523
有価証券	2,000	2,000
製品	3,606	2,160
原材料	4,178	3,700
仕掛品	1,159	1,041
未成工事支出金	12,180	6,862
その他	2,825	2,457
貸倒引当金	△271	△313
流動資産合計	61,300	62,510
固定資産		
有形固定資産	9,590	9,408
無形固定資産	941	913
投資その他の資産		
投資有価証券	2,836	3,298
その他	5,750	5,275
貸倒引当金	△184	△157
投資その他の資産合計	8,403	8,417
固定資産合計	18,935	18,738
資産合計	80,235	81,249

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,658	10,588
短期借入金	36	20
未払法人税等	910	1,939
賞与引当金	1,436	2,942
完成工事補償引当金	21	57
工事損失引当金	312	279
その他	10,240	9,233
流動負債合計	23,616	25,061
固定負債		
退職給付引当金	5,716	5,859
役員退職慰労引当金	570	594
負ののれん	31	34
その他	386	379
固定負債合計	6,703	6,868
負債合計	30,320	31,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,745	12,744
利益剰余金	22,844	21,882
自己株式	△230	△213
株主資本合計	48,661	47,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33	320
為替換算調整勘定	162	202
評価・換算差額等合計	195	523
少数株主持分	1,058	1,079
純資産合計	49,915	49,318
負債純資産合計	80,235	81,249

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	59,197
売上原価	41,428
売上総利益	17,768
販売費及び一般管理費	14,827
営業利益	2,941
営業外収益	
受取利息	78
受取配当金	37
負ののれん償却額	10
持分法による投資利益	52
その他	169
営業外収益合計	349
営業外費用	
支払利息	3
貸貸費用	45
為替差損	31
その他	32
営業外費用合計	112
経常利益	3,177
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4
特別利益合計	4
特別損失	
投資有価証券評価損	51
固定資産処分損	35
特別損失合計	87
税金等調整前四半期純利益	3,094
法人税等	1,284
少数株主利益	39
四半期純利益	1,769

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,094
減価償却費	878
負ののれん償却額	△10
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△18
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△172
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,505
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△36
受取利息及び受取配当金	△116
支払利息	3
持分法による投資損益 (△は益)	△52
固定資産処分損益 (△は益)	35
投資有価証券評価損益 (△は益)	51
売上債権の増減額 (△は増加)	7,558
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,405
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,059
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	2,110
その他	△362
小計	2,968
利息及び配当金の受取額	122
利息の支払額	△3
法人税等の支払額	△2,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	806
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額 (△は増加)	△220
固定資産の取得による支出	△1,249
貸付けによる支出	△26
貸付金の回収による収入	67
その他	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16
配当金の支払額	△786
その他	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△793
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,575
現金及び現金同等物の期首残高	17,175
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,600

(四半期会計基準に基づいている旨の記載)

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	火災報知設備 (百万円)	消火設備 (百万円)	保守点検等 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	26,487	15,225	14,020	3,463	59,197	—	59,197
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	125	0	155	321	(321)	—
計	26,528	15,351	14,020	3,618	59,519	(321)	59,197
営業利益	3,388	611	1,976	260	6,236	(3,295)	2,941

(注) 1 事業区分の方法

事業の種類を考慮し、火災報知設備、消火設備、保守点検等、その他に区分しております。

2 各事業区分に属する主要営業品目

火災報知設備：自動火災報知設備・環境監視システム・防火戸、防排煙設備他

消火設備：各種スプリンクラー設備・泡消火設備・プラント防災設備・トンネル防災設備他

保守点検等：各種防災設備に係る保守点検および補修業務・防災設備のリース他

その他：駐車場設備・防犯設備他

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	
	金 額	百分比
I 売 上 高	54,015	100.0
II 売 上 原 価	38,585	71.4
売 上 総 利 益	15,430	28.6
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	13,670	25.3
営 業 利 益	1,760	3.3
IV 営 業 外 収 益	352	0.6
V 営 業 外 費 用	112	0.2
経 常 利 益	2,000	3.7
VI 特 別 利 益	46	0.1
VII 特 別 損 失	46	0.1
税金等調整前四半期純利益	2,000	3.7
法人税、住民税及び事業税	902	1.7
少数株主利益	13	0.0
四 半 期 純 利 益	1,084	2.0